

第十九回 (株) USEN 番組審議会 議事録

開催日時：平成 18 年 10 月 6 日 11:00～
開催場所：(株) USEN 山王パークタワー13F
プレゼンテーションルーム

出席者 委員：小林亜星、有馬祐行、渡辺英夫、山本武司（順不同・敬称略）

放送局側：5名

議事内容

1. 会社動向についての報告

2. 放送事業についての報告

3. 番組課題

(1) 団塊世代向け番組について

(2) 他、番組全般について自由討論

4. 番組審議

- 来年から団塊世代の定年退職が本格的に拡大してゆくが、これに伴い、昭和音楽への回顧の情、特に 1960 年代～70 年代発表作品を中心とした音楽へのニーズが一層高まるであろうことが予想される。
- 時間的・経済的余裕をもつようになった団塊世代がフォークミュージック等、多感な時期によく聞いていた音楽を楽しむ際には、個人的な嗜好が優先される傾向があり、そういった人々に対しては、大量の宣伝広告費を投じてヒットを作り上げようとするような方法はあまり効果がないと考えられる。
- 情報化が進んだ現代では、ユーザーが容易に発信者にもなることができるため、個人コンテンツの集約、また同人会的なコミュニティーに注目したサービスも検討するべきである。
- リスナーの演奏を放送するチャンネルも需要があると考えられる。
- 海外の音楽に憧れていた時代を経て、日本特有の歌謡曲・J-POP が確立されて来たが、今度はリスナーが海外に対してあまり目を向けない傾向が拡大してきている。バランス良い音楽聴取を促し、啓蒙することが必要である。
- SOUND PLANET・USEN440 の放送内容をよくしようという努力とともに、メディアとしてのステータスを高めるためのプロモーション戦略も必要である。
- 学生の音楽活動を題材にした映画ヒット作の影響もあり、楽器を演奏する（特に吹奏楽）小中高生が急激に増えており、演奏レベルも上がっている。そういった子供たちが生演奏に触れるには、ライブハウスに足を運ぶ以外の手段があまり用意されていないという現状があり、それを補う意味でも、学生バンドがよく演奏する楽曲を様々なアレンジ・演奏者によるバージョンで放送するチャンネルを設ければ、大きな需要があると考えられる。
- アマチュアブラスバンドコンクールを開催し、入賞したブラスバンドの演奏を放送するなど、音楽教育の一環、モチベーターとしての役割を果たせば、社会貢献という観点からも大きな意義がある。